

部局経営方針

部局名	消防局	部局長名	桑原 道男		
①部局の使命 (組織の存在 価値)	<p>消防組織法第1条に規定されている「消防の任務」を使命とする。</p> <p>※ 保有する資機材及び人員を、日々の訓練を介し最大限活用できるように努める中、住民の生命、身体・財産を災害から保護するとともに、災害を防除し、災害による被害を軽減する。</p> <p>※ 加えて、消防団（5大隊9方面隊32分団）及び防災関係機関・団体と連携し、市民意識の更なる啓発により災害発生の抑制を行う。</p>				
②部局内の 経営資源	予算	当初 16億7千160万5千円（一般会計に占める割合＝3.7%）			
	構成人員		職員	嘱託	計
	※	消防本部 (4課9係)	31人	1人	32人
		消防署 (3署2分署2分駐所)	121人		121人
		計	152人	1人	153人
③組織目標像	<p>「誰もが安心して快適に暮らせるまちづくり」の着実な推進</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 予防体制の充実強化 (住宅防火対策の強化推進) 2 消防体制の強化 (消防体制の再構築) 3 救急・救助体制の強化 (救命率の向上と救急救命士の処置範囲拡大に伴う研修の推進) 4 親しまれ、信頼される消防 				
平成18年度の重点目標と主な取組み					
④平成18年度の重点目標	⑤平成18年度中に目指す水準（指標、目標値）		⑥具体的な取組み		
地域における防火安全まちづくりの推進			職員自らが「防火・防災のセールスマン」としての自覚を持ち、関係部課と協力し、自主防災組織をはじめとする地域住民の防火防災の知識・技術の普及啓発を行い、災害による被害を軽減する。		
住宅用火災警報器の早期の普及促進			各種会議並びに広報誌等のあらゆる媒体を利用して住宅防火の意識高揚をを行い、早期設置を促進する。		

<p>消防職員・団員の人材育成及び災害活動・訓練時における安全管理の徹底</p>	<p>・公務災害 “ゼロ”</p>	<p>消防学校等の研修と併せその他の研修機関における各種研修を積極的に推進・実施し、時代の変化に即応できる人材育成を行う。</p> <p>また、危険予知訓練等を通じて公務災害を根絶する。</p>
<p>救命率の向上に向けた「救命の連鎖」の更なる構築</p>	<p>・普通救命受講者数 2,500人/年 (12歳以上70歳未満の人口の3.5%)</p> <p>※ 受講者累計数 8,300人 (上記人口の11.9%)</p>	<p>普通救命講習の受講を積極的に市民及び各事業所へ呼びかける。</p> <p>官公庁はもとより各事業所への自動体外式除細動器(AED)の設置普及を促進し、「AEDマップ」(仮称)を作成して、広く市民に周知し救命率を向上する。</p>

※作成日基準日は平成18年4月1日

※支所の人員は、支所各課内のグループごとに担当職員を区分して、計上してください。(重複可)

※嘱託員(月額報酬者)は、非常勤職員である。